

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			ファッショ ンビジネス	ファッショ ン流通業に必要とされるファッショ ンビジネスに関する基礎を学びながら、ファッショ ンビジネス能力検定3級 資格の取得を目指し、さらに企画について情報 活用・提案までを理解する。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○	
○		アパレル商 品論・演習 A	アパレル商 品論・演習 B	流通全般に必要なアパレル商品としてのス カート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの 基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することで ファッショントヨーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッショントヨーディネート技術を学習させる。 商品を理解させる。			1 ・ 前 期	180	6	○	△		○	○	
○							1 ・ 後 期	180	6	○	△	○	○	○	
○		ファッショ ンコードイ ネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えた ファッショントヨーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習 することを目標とする。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		マーケット リサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、 ショッピングや街などのリサーチとレポートを通して 修得させる。 ・ファッショントヨーディネートの構造を理解し、小売業態別 にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、 理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた 情報を分析し、企画に結びつける。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		ファッショ ン色彩	ファッショントヨーディネートの色彩に関する基礎的な技術 や知識を、演習を中心に行なながら習得する。 ファッショントヨーディネート能力検定3級に対応。テキスト の内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッショントヨーディネートのセオリーなどを理解し、ファッショントヨーディネートの現場で活用できる能力を身につける。			1 ・ 通 年	60	2	△	○		○	○	○	
○		アパレル素 材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル (布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基 礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して 学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル 業界のつながりや現状とも関連付けながら解 説する。			1 ・ 通 年	60	2	○	△	△	○	○		
○		ファッショ ン史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、 文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッショントヨーディネートとの関 連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知 識を新たなデザイン発想やコードィネート表現 へと応用できる力を身につけることを目標とす る。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○		

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンデザイン 画	ファッショ ンデザイン 画は、人体プロポーション と衣服のバランスを把握し、 イメージするデザインやコーディネートを具体的 に描く技法を身につけることを目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○		
○		コンピュー タワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来 ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリ ティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容 を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソ フト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッショ ン英会話	ファッショ ンを専攻する学生が対象なので、 ファッショ ンに関するトピックを中心に文法の復 習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラス を5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけ できるように工夫している。英語でのコミュニ ケーションを少しでも多く体感できることを目指 す。	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	初步の英文法を学習している学生対象の コース。なかなか心理的に壁があり話したくて も会話ができない状況を打破するために体得 をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な 間違えを直すより、自分の考えを表現できるよ うにすることを重視する。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確 認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てる のでビジネス英語の導入としてもとらえてい る。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ビンイン」から始め、難関の「四声」 「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入 門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習 に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え 方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、 疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩 の表現についてトレーニングします。中検4級基 準。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 日本語(留学 生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必 要とされる日本語レベルの習得を目標にする。 授業では、ファッショ ン用語・文法・敬語表現を 中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を 行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュ ニケーション力向上も視野に入れる。目標レベ ルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画b	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描寫力のスキルアップをめざす。 服のコーディネイト、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 前 期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 後 期	30	1	△	○		○		○			

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1 ・ 後 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レリーフライ表現(スマッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1 ・ 後 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1 ・ 前 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1 ・ 前 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1 ・ 前 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1 ・ 後 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1 ・ 後 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1 ・ 後 期	30	1			○	○	○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1 ・ 前 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1 ・ 後 期	60	2		○	○		○		
○			企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1 ・ 後 期	90	3		○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1 ・ 通 年	60	2	○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間( 35 単位)								

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			スタイリストワークA	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術をの習得を目指す。	2・前期	60	2	○		△	○		○		
○			スタイリストワークB	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術をの習得を目指す。	2・後期	60	2	○		△	○		○		
○			ディレクションワーク	スタイリング表現をするにあたり、その目的をしつかり捉え明確にすること、また目的実現のために何をするべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有するその方法を学ぶ。	2・通年	60	2	○		△	○		○		
○			カメラワーク	写真撮影の基礎知識を学び、アパレル授業で学生自身が作った作品をスタイリング撮影し、自分の好きな世界観の追求、服の見せ方スタイリングのポイントを学ぶ。	2・通年	30	1		○		○		○		
○			アパレル演習A	カジュアルウェア製作(リメイクウェア製作を含む)を通してカジュアルウェアの基本知識、デザイン、パターンの工夫、素材の扱い、縫製テクニック、コーディネートについて理解させることを目標とし、新入生歓迎ショーとして発表することで、ファッションショーの制作過程と各スタッフの役割を習得する。 ・バザー作品製作を通してファッション小物としての商品の企画、製作、販売を学ぶ。	2・前期	90	3		○		○		○		
○			アパレル演習B	アパレル商品としてのフォーマルウェアを学ぶことで、素材の特徴や扱い、客観的に捉えたファッションコーディネートなど作品製作を通して着こなしなどを理解させることを目標とする。	2・後期	60	2		○		○		○		
○			アパレル商品論	スタイリストに必要なアパレル商品知識をアイテム毎に名称、ディテール、素材、縫製やフィッティングのチェックポイント及び取扱いなどを学び、レポートを制作することにより知識を理解・修得し、商品選択眼を養う。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			染色・加工演習	スタイリストの実務において、クライアントからの染色関連の依頼に対応できる知識・技術を習得させる事を目標とする。 染色・加工の観点から、商品選択の幅を広げ発展させてゆけるよう指導する。	2・前期	30	1		○		○		○		
○			アクセサリーラン・演習	ファッションコーディネーションに必要なファシングツの専門知識と技術を学ぶ。 作品製作を通じアクセサリーと衣服のコーディネーション力・バランス感覚を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○		○		

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
○			ファッショ ンスタイリ ング	2年間を通してファッショントヨーディネートの基本的な知識と技術を習得する。時代への適応力を客観的に捉えたファッショントヨーディネートの提案能力を養う。素材や柄、アクセサリー、シルエット、体型カバーなどに視点を置きファッショントヨーディネートのテクニックの講義を主体にして、スタイリング実習、プレゼンテーションを行	2 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○	
○			ディスプレ イ	ディスプレイの目的と役割を学び、店舗での販売促進やPRシーン等のショーアイントテクニックを演習から学ぶ。構成、道具、用具の使い方、演出物の選び方や作ることができ、美しく飾り付けができるようになる。ディスプレイプランニングではテーマ／コンセプト、シーズン、カラー、ディスプレイデザイン画によって「いつ／どこに／何を／誰に／どのように」という人に伝えるプレゼンテーションを制作	2 ・ 通 年	30	1		○		○	○	
○			ヘアメイク	企業と連携して、プロのメイクアップアーティストが実際に現場で使用している用具の取り扱い方やイメージ別メイクの特徴とテクニックを学び、実践技術を身に付け、トータルトヨーディネートの可能性を広げる。	2 ・ 通 年	60	2		○		○	○	○
	○	自由選択 (語学)	ファッショ ン英会話	ファッショントヨーを専攻する学生が対象なので、ファッショントヨーに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2 ・ 通 年	60	2		○		○	○	
	○	自由選択 (語学)	オーラルコ ミュニケー ション	初步の英会話を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2 ・ 通 年	60	2		○		○	○	
	○	自由選択 (語学)	TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2 ・ 通 年	60	2		○		○	○	
	○	自由選択 (語学)	中国語	発音の土台「ピイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2 ・ 通 年	60	2		○		○	○	

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技			
		<input type="radio"/>	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2 ・ 通年	60	2		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザ イン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザ イン 画b	ファッショ業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザ イン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザ イン 画b	ファッショ業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッショコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2 ・ 前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッショコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2 ・ 後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A 帽子a	ファッショコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A 帽子b	ファッショコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B 帽子b	ファッショコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

授業科目等の概要												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 前 期	30	1	△	○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 後 期	30	1	△	○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 期 ・ 前	30	1			○	○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 期 ・ 前	30	1			○	○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・ 前 期	30	1			○	○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後 期	30	1			○	○	○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後 期	30	1			○	○	○	

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技			校内	校外	兼任			
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・後期	30	1		○	○	○			
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2 ・前期	30	1		○	○	○			
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2 ・通年	60	2	○		○		○		
○			校外研修Ⅱ	研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学(ワコール、川島織物))を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2 ・前期	30	1		○	○	○			
		○	インターンシップa	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自身への理解を深めることを目的とする。	2 ・後期	30	1		○	○		○		
		○	インターンシップb		2 ・後期	60	2		○	○		○		
		○	インターンシップc		2 ・後期	90	3		○	○		○		
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。アパレル演習で制作したジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2 ・前期	30	1		○	○	○			
○			卒業研究・創作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。 学生個々での研究創作とした作品制作及びプレゼンテーション・展示発表まで行う。	2 ・後期	180	6		○	○	○			
学年合計		47科目			960単位時間( 32 単位)			授業期間等						
総合計		89科目			2010単位時間( 67 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			ファッショ ンビジネス	ファッショ ン流通業に必要とされるファッショ ンビジネスに関する基礎を学びながら、ファッショ ンビジネス能力検定3級 資格の取得を目指し、さらに企画について情報 活用・提案までを理解する。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○	
○		アパレル商 品論・演習 A	アパレル商 品論・演習 B	流通全般に必要なアパレル商品としてのス カート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの 基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することで ファッショ ンコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッショ ン小物の製作を通じて 商品を理解させる。			1 ・ 前 期	180	6	○	△		○	○	
○							1 ・ 後 期	180	6	○	△	○	○	○	
○		ファッショ ンコーディ ネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えた ファッショ ンコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習 することを目標とする。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		マーケット リサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、 ショッピングや街などのリサーチとレポートを通して 修得させる。 ・ファッショ ン産業の構造を理解し、小売業態別 にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、 理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた 情報を分析し、企画に結びつける。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		ファッショ ン色彩	ファッショ ン流通の色彩に関する基礎的な技術 や知識を、演習を中心に行なながら習得する。 ファッショ ン色彩能力検定3級に対応。テキスト の内容に沿った講義や実習プリントの学習を通 し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッ ショ ンカラーコーディネーションのセオリーなど を理解し、ファッショ ンの現場で活用できる能力 を身につける。			1 ・ 通 年	60	2	△	○		○	○	○	
○		アパレル素 材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル (布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそ れらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基 礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して 学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル 業界のつながりや現状とも関連付けながら解 説する。			1 ・ 通 年	60	2	○	△	△	○	○		
○		ファッショ ン史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、 文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッショ ンとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知 識を新たなデザイン発想やコーディネート表現 へと応用できる力を身につけることを目標とす る。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○		

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンデザイン 画	ファッショ ンデザイン 画は、人体プロポーション と衣服のバランスを把握し、 イメージするデザインやコーディネートを具体的 に描く技法を身につけることを目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○		
○		コンピュー タワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来 ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリ ティを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容 を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソ フト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッショ ン英会話	ファッショ ンを専攻する学生が対象なので、 ファッショ ンに関するトピックを中心に文法の復 習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラス を5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけ できるように工夫している。英語でのコミュニ ケーションを少しでも多く体感できることを目指 す。	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	初步の英文法を学習している学生対象の コース。なかなか心理的に壁があり話したくて も会話ができない状況を打破するために体得 をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な 間違えを直すより、自分の考えを表現できるよ うにすることを重視する。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確 認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てる のでビジネス英語の導入としてもとらえてい る。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ビンイン」から始め、難関の「四声」 「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入 門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習 に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え 方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、 疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩 の表現についてトレーニングします。中検4級基 準。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 日本語(留学 生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必 要とされる日本語レベルの習得を目標にする。 授業では、ファッショ ン用語・文法・敬語表現を 中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を 行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュ ニケーション力向上も視野に入れる。目標レベ ルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画b	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描寫力のスキルアップをめざす。 服のコーディネイト、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 前 期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 後 期	30	1	△	○		○		○			

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○ 自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レリーフライ表現(スマッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1 ・ 前 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1 ・ 後 期	60	2		○	○		○		
○			企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1 ・ 後 期	90	3		○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1 ・ 通 年	60	2	○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間( 35 単位)								

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
○			セールスコーディネート	●ファッションコーディネートの方法とそのテクニックを習得しコーディネート力を養う ・お客様視点に立ったコーディネートが組める ・コーディネートの提案と実践を繰り返し学習し感性を理論に置き換える ●4つの視点で学習する ①アクセサリーに視点を置く②体型カバーに視点を置く③素材に視点を置く④販売促進カレンダーに添わせる	2・通年	60	2	○			○	○	
○			接客対応スキル（基礎）	1. ショップスタイルとしての立ち居振る舞いから応対までの知識と実践力を身につける。 2. お客様視点での判断と行動ができる 3. 販売の楽しさを知る 4. 会話力を身につけさせる 5. プレゼンテーション能力の向上	2・前期	90	3		○		○	○	
○			接客対応スキル（応用）	アパレル商品論 アパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く、パターン展開や部分縫いなど講義だけでなく実技演習からも知識を習得する。またフォーマルスペシャリスト検定準2級を必須受験し、合格を目指す。	2・後期	90	3		○		○	○	
○			アパレル演習A		2・通年	60	2	△	○	△	○	○	
○			アパレル演習B	・カジュアルウエア(リメイク含む)の製作を通して、カジュアルウエアの概念、デザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。新入生歓迎ショーとして発表する。 ・バザー作品の製作を通して、生活雑貨・アクセサリーの企画、製作方法、販売について学ぶ。	2・前期	90	3		○		○	○	
○			アパレル演習C	フォーマルウエアの一般知識、素材の特徴と扱い、着こなしなどについて、作品製作を通して理解させる。	2・後期	60	2		○		○	○	
○			ファッショショーンマーケティング	リサーチやヒアリングを繰り返し行い、客観的にモノを見る目を養い、情報収集の重要性を知る。また、得た情報を基にショッププランニングを行うことで情報分析力、アイディアを出す力を身につけ、店舗におけるマーケティングの重要性を学ぶ。セールスプロモーション、VMDとの連携を行い企画に専門性、厚みをつける。	2・通年	60	2		○		○	○	

授業科目等の概要											
(ファッショント流通専門課程ファッショント流通科ショッピングスタイルコース) 平成29年度			授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択				講義	演習	実験・実習・実技			
○			ビジュアルマーチャンダイジング	2・通年	60	2	○		○	○	
○			売場計数	2・後期	30	1	○	△	○	○	
○			セールスプロモーション・演習	2・後期	30	1	○		○	○	
○			产学連携プログラム(接客サービス)	2・前期	30	1	○		○	○	
○			ビジネスコミュニケーション	2・前期	30	1	○		○	○	
○			アパレル品質論	2・後期	30	1	△	○	△	○	

授業科目等の概要												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技			
○		パーソナルメイク	ショップ stylistとして、さまざまなメークアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げる。	2・前期	30	1		○		○	○	
○		パーソナルカラー	1年次で学んだ色彩理論や配色コーディネート力を基に、ファッション業界の色の活用として知られる「似合う色」について実践する。色素(肌・髪・眼)を的確に判断し、理論的に似合う色を導く方法を身につけて、接客に即活かせる色感を養う。「自分プランディング」による自己確立を踏まえ、少人数による接客アドバイスやプレゼン、ディスカッションを繰り返し、「コンサルティング接客」能力を磨くことを目指す。	2・前期	30	1	○			○	○	○
	○	自由選択(語学) ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○	○	○
	○	自由選択(語学) オーラルコミュニケーション	初步の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○		○
	○	自由選択(語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○		○
	○	自由選択(語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○		○
	○	自由選択(語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○		○

授業科目等の概要												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技			
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技			
		<input type="radio"/>	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鈎針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 前 期	30	1	△	○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鈎針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 後 期	30	1	△	○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 前 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 前 期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・ 前 期	30	1			○	○	○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後期	30	1			○	○	○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後期	30	1			○	○	○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・ 後期	30	1			○	○	○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2 ・ 前期	30	1			○	○	○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2 ・ 通年	60	2	○			○		○	
○			校外研修Ⅱ	研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学(ワコール、川島織物))を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2 ・ 前期	30	1			○	○	○		
		○	インターン シップa	アパレル業界の現場・現状を把握するために、アパレル企業で実際に研修を受けることで、学校教育で体験できない実学を学ぶ。	2 ・ 後期	30	1			○		○	○	
		○	インターン シップb		2 ・ 後期	60	2			○		○	○	
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。アパレル演習で制作したジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2 ・ 前期	30	1			○	○	○		
○			卒業研究・創作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。ファッションショーの企画・演出から作品製作まで、2年間で学んだ知識と技術を結集し発表させる。	2 ・ 後期	180	6			○	○	○		
学年合計			49科目			1080単位時間( 36 単位)								
総合計			91科目			2130単位時間( 71 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			ファッショ ンビジネス	ファッショ ン流通業に必要とされるファッショ ンビジネスに関する基礎を学びながら、ファッショ ンビジネス能力検定3級 資格の取得を目指し、さらに企画について情報 活用・提案までを理解する。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○	
○		アパレル商 品論・演習 A	アパレル商 品論・演習 B	流通全般に必要なアパレル商品としてのス カート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの 基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することで ファッショントヨードイネート技術を学習させる。 バザー作品のファッショントヨードイネート技術を学習させる。 商品を理解させる。			1 ・ 前 期	180	6	○	△		○	○	
○							1 ・ 後 期	180	6	○	△	○	○	○	
○		ファッショ ンコードイ ネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えた ファッショントヨードイネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習 することを目標とする。				1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○	
○		マーケット リサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、 ショッピングや街などのリサーチとレポートを通して 修得させる。 ・ファッショントヨードイネートの構造を理解し、小売業態別 にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、 理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた 情報を分析し、企画に結びつける。				1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○	
○		ファッショ ン色彩	ファッショントヨードイネートの色彩に関する基礎的な技術 や知識を、演習を中心に行なながら習得する。 ファッショントヨードイネート能力検定3級に対応。テキスト の内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッショントヨードイネートのセオリーなどを理解し、ファッショントヨードイネートの現場で活用できる能力を身につける。				1 ・ 通 年	60	2	△	○		○	○	○
○		アパレル素 材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル (布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基 礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して 学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル 業界のつながりや現状とも関連付けながら解 説する。				1 ・ 通 年	60	2	○	△	△	○	○	
○		ファッショ ン史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、 文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッショントヨードイネートとの関 連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知 識を新たなデザイン発想やコードイネート表現 へと応用できる力を身につけることを目標とす る。				1 ・ 通 年	60	2	○			○	○	

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンデザイン 画	ファッショ ンデザイン 画は、人体プロポーション と衣服のバランスを把握し、 イメージするデザインやコーディネートを具体的 に描く技法を身につけることを目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○		
○		コンピュー タワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来 ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリ ティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容 を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソ フト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッショ ン英会話	ファッショ ンを専攻する学生が対象なので、 ファッショ ンに関するトピックを中心に文法の復 習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラス を5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけ できるように工夫している。英語でのコミュニ ケーションを少しでも多く体感できることを目指 す。	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	初步の英文法を学習している学生対象の コース。なかなか心理的に壁があり話したくて も会話ができない状況を打破するために体得 をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な 間違えを直すより、自分の考えを表現できるよ うにすることを重視する。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確 認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てる のでビジネス英語の導入としてもとらえてい る。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ビンイン」から始め、難関の「四声」 「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入 門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習 に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え 方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、 疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩 の表現についてトレーニングします。中検4級基 準。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 日本語(留学 生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必 要とされる日本語レベルの習得を目標にする。 授業では、ファッショ ン用語・文法・敬語表現を 中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を 行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュ ニケーション力向上も視野に入れる。目標レベ ルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画b	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描寫力のスキルアップをめざす。 服のコーディネイト、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 前 期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 後 期	30	1	△	○		○		○			

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○ 自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レリーフライ表現(スマッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1 ・ 前 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1 ・ 後 期	60	2		○	○		○		
○			企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1 ・ 後 期	90	3		○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1 ・ 通 年	60	2	○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間( 35 単位)								

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			リテールマーチャンダイジングA	文化祭での店舗出店に向けての実務を通して、リテールマーチャンダイジングに必要な知識を得ることを目標とする。 具体的にターゲット設定、店舗コンセプト、商品構成、店舗面積、店舗イメージ、販売サービス、販促、計数管理などの実践を行い、社会に出てから必要となる実務のシミュレーションを行う。	2・前期	120	4	○		○		○			
○			リテールマーチャンダイジングB		2・後期	120	4	○		○		○			
○			リテールマーチャンダイジング 計数	アパレル小売業の多くが現在使用している店計数に関する基礎知識の習得を目標とする。 ①計数用語の解説と計算式の理解及び演習 ②実際店舗で使用している計画書、報告書などの書類の紹介 ③文化祭出店における計数管理。	2・通年	90	3	○	△		○	○			
○			ビジュアルマーチャンダイジング	企業の理念や経営システムに基づいた商品政策・商品演出のことであり、五感に訴える売り場作りの戦略・戦術です。授業ではその基礎知識と共に実社会でも即活用できるテクニックを学び、文化祭の店舗RE・TENTにて実践していきます。また実店舗に於いてのVMD計画を立てて実習し、独自のVMDの企画書を完成させる。	2・通年	60	2		○		○		○		
○			セールスプロモーション	プロモーションの手法が多岐に渡る現在において、基本的なプロモーション手法の理解と共に、常に変化に対応できるよう、企画力、対応力、柔軟性を高めていくことに重点を置き、講義を行う。	2・通年	30	1	○			○		○		
○			アパレル商品論	ファッションアドバイザーやバイヤー、企業を目指すために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムごとに服の構造やディテールの名称をより深く、実務的な視点から理解するためアパレル製造論とも連動し、リメイクや部分縫いなど講義だけでなく実技演習からも知識を習得する。	2・通年	60	2	△	○	△	○	○			
○			販売実務	・販売員として、基本的な立ち居振る舞いから応対までの知識と実践力を身につける。 ・お客様視点での判断と行動ができ、販売の楽しさや難しさなど、ロールプレイングを通じて体感する ・文化祭RE・TENTにおいて、「おもてなし」をチームごとに考えさせ、体現させる ・プレゼンテーション力を養う	2・通年	90	3	○	△		○	○			

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
○			インターネットビジネス	ファッショニンビジネスにおいて、インターネットの活用は必須となり、ブランディング、マーケティング、プロモーション、販売等、活用の方法が多岐にわたってきている。ブランドの戦略や成長に欠かすことのできないインターネットの活用を、ECを実際に構築したり、SNSを利用してプロモーションをしたりなど、実践からインターネットビジネスについて理解を深める。	2・通年	30	1	○	△		○	○	○
○			パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッショニン業界の現場でビジネススキルとして活用する「パーソナルカラー」の習得を目指す。色を使ったクライアント対応の他、文化祭での店舗計画にも色を活かす内容とする。（*パーソナルカラー検定3級、2級を受験できる内容）	2・前期	30	1	△	○		○	○	○
○			メディアワーク	1年次に習ったアプリケーションソフトを復習しながら、店舗、商品のPRIに活かす販促物のデザインを中心に、表計算ソフトなども交えながら課題を作成し、実務に活かすスキルを身につける。	2・通年	60	2	○	△		○	○	
○	○	自由選択（語学） ファッショニン英会話	ファッショニンを専攻する学生が対象なので、ファッショニンに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○	○	○	
○	○	自由選択（語学） オーラルコミュニケーション	初步の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○	○	○	
○	○	自由選択（語学） TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○	○	○	
○	○	自由選択（語学） 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○	○	○	

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	<input type="radio"/>	自由選択(語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッションデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッションデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッションデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッションデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子 b	ファッショントーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子 b	ファッショントーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	トーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 前期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	トーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 後期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 前期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 後期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 前期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2 ・ 後期	30	1		○		○		○			

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 前期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 前期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・ 前期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2 ・ 後期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2 ・ 後期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2 ・ 前期	30	1				○	○	○			
<input type="radio"/>		特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2 ・ 通年	60	2	○				○		○		
<input type="radio"/>		校外研修Ⅱ	・研修旅行において企業見学(カイハラ株式会社、マツダ株式会社)を通し、産業の現場を幅広く理解させる。	2 ・ 前期	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	インターン シップa	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追求と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 在学中より将来就きたい職種の現場に身を置き、経験を積む。その経験をもとに、自ら学びを深め就職へと繋げる。	2 ・ 通年	30	1				○	○	○			
	<input type="radio"/>	インターン シップb		2 ・ 通年	60	2				○	○	○			

授業科目等の概要													
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1		○	○		○	
○			卒業研究・創作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5		○	○		○	
学年合計			44科目		960単位時間( 32 単位)								
総合計			86科目		2010単位時間( 67 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前期・後期
	1学期の授業期間	15週
(留意事項)		
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。		
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。		

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			ファッショ ンビジネス	ファッショ ン流通業に必要とされるファッショ ンビジネスに関する基礎を学びながら、ファッショ ンビジネス能力検定3級 資格の取得を目指し、さらに企画について情報 活用・提案までを理解する。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○	
○		アパレル商 品論・演習 A	アパレル商 品論・演習 B	流通全般に必要なアパレル商品としてのス カート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの 基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することで ファッショ ンコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッショ ン小物の製作を通じて 商品を理解させる。			1 ・ 前 期	180	6	○	△		○	○	
○							1 ・ 後 期	180	6	○	△	○	○	○	
○		ファッショ ンコーディ ネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えた ファッショ ンコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習 することを目標とする。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		マーケット リサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、 ショッピングや街などのリサーチとレポートを通して 修得させる。 ・ファッショ ン産業の構造を理解し、小売業態別 にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、 理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた 情報を分析し、企画に結びつける。			1 ・ 通 年	60	2	○		△	○	○		
○		ファッショ ン色彩	ファッショ ン流通の色彩に関する基礎的な技術 や知識を、演習を中心に行なながら習得する。 ファッショ ン色彩能力検定3級に対応。テキスト の内容に沿った講義や実習プリントの学習を通 し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッ ショ ンカラーコーディネーションのセオリーなど を理解し、ファッショ ンの現場で活用できる能力 を身につける。			1 ・ 通 年	60	2	△	○		○	○	○	
○		アパレル素 材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル (布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそ れらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基 礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して 学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル 業界のつながりや現状とも関連付けながら解 説する。			1 ・ 通 年	60	2	○	△	△	○	○		
○		ファッショ ン史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、 文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッショ ンとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知 識を新たなデザイン発想やコーディネート表現 へと応用できる力を身につけることを目標とす る。			1 ・ 通 年	60	2	○			○	○		

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンデザイン 画	ファッショ ンデザイン 画は、人体プロポーション と衣服のバランスを把握し、 イメージするデザインやコーディネートを具体的 に描く技法を身につけることを目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○		
○		コンピュー タワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来 ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリ ティを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容 を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソ フト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッショ ン英会話	ファッショ ンを専攻する学生が対象なので、 ファッショ ンに関するトピックを中心に文法の復 習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラス を5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけ できるように工夫している。英語でのコミュニ ケーションを少しでも多く体感できることを目指 す。	1 ・ 通 年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	初步の英文法を学習している学生対象の コース。なかなか心理的に壁があり話したくて も会話ができない状況を打破するために体得 をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な 間違えを直すより、自分の考えを表現できるよ うにすることを重視する。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確 認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てる のでビジネス英語の導入としてもとらえてい る。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ビンイン」から始め、難関の「四声」 「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入 門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習 に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え 方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、 疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩 の表現についてトレーニングします。中検4級基 準。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 日本語(留学 生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必 要とされる日本語レベルの習得を目標にする。 授業では、ファッショ ン用語・文法・敬語表現を 中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を 行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュ ニケーション力向上も視野に入れる。目標レベ ルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1 ・ 通 年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッショングッズデザイン 画b	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッショングッズデザイン 画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描寫力のスキルアップをめざす。 服のコーディネイト、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 前 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショングッズのアイデアをビジュアル化させる為のイラストによる描寫力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1 ・ 後 期	30	1		○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 前 期	30	1	△	○		○		○			
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1 ・ 後 期	30	1	△	○		○		○			

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○ 自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レリーフライ表現(スマッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○ 自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1 ・ 後 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1 ・ 前 期	30	1		○	○		○		
○			自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1 ・ 後 期	60	2		○	○		○		
○			企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1 ・ 後 期	90	3		○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1 ・ 通 年	60	2	○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1 ・ 前 期	30	1		○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間( 35 単位)								

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技			
○			プロポーション美学A	自分の体形や第一印象を知ることから入り、自己分析を行う。そして、表現力を身に付けながら基本的なモデルウォーキングの動きを習得する。	2・前期	60	2		○	△	○		○	○
○			プロポーション美学B	プロポーション美学Aの基本を踏まえ、ショーや雑誌でのポーズ、また舞台でのウォーキング表現を習得する。	2・後期	60	2		○	△	○		○	○
○			化粧科学	健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ法などを実習を交えながら学びます。またストレスを自己コントロールしながら、ファッションモデルとして心身ともに健全で美しいトータルビューティの実現を目指します。	2・通年	60	2		○		○		○	
○			ヘア・メイク	企業と連携し、実際に現場で使用されている用具を使用し、様々なヘア・メイクアップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。	2・通年	60	2		○		○		○	
○			操体・ヨガ	自分の身体に集中し、自分の身体の声をきく(原始感覚を養う)。身体の声に従い身体の不都合な所を直す。自分の身体は自分で直す、を基本とする。その方法としてヨガ・操体法を学ぶ。ヨガ・操体共に無駄な力は使わず、正しく行い、正体に近づける。具体的には、ヨガでは呼吸を意識し常に呼吸と共にポーズを行う。易しいポーズ、メインのポーズ、その他のポーズ。操体は身体の快、不快を動きの中で感じ、操体法を使って身体の歪みを直す。	2・通年	30	1		○		○		○	○
○			コンテンポラリーダンス	クラシックバレエノ基礎レッスントレーナーをする事で、しなやかで美しい身体と音楽を感じ空間を意識しながら舞台パフォーマーとしての自己表現力を身に付ける。モデルとして社会に出ていくことができる人材、クライアントや消費者に認めて頂ける自分作りをする。	2・通年	30	1		○		○		○	
	○		ファッションモデル演習	日々の学習の成果を、モデル研修・演習を通して経験し各自モデルとしての、自信につなげることを目標としている。	2・通年	30	1		○		○		○	
○			ファッション商品論・演習A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。更に新入生歓迎ショー作品(カジュアルウエア)の制作。バザー作品製作。一般的な商品知識を理解する商品マップの制作	2・前期	60	2		○		○		○	
○			ファッション商品論・演習B	フォーマルウエアの制作を通して、フォーマルウエアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修業させる。フォーマルウエアに合う布地を使用したアクセサリー制作を行う。	2・後期	90	3	○	△		○		○	

授業科目等の概要															
(ファッショント流通専門課程ファッショント流通科ファッショント流通モデルコース) 平成29年度			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任		
○			トータルコーディネート	●ファッショントコーディネートの基本的な知識と技術を理論に基づいて実践的に学ぶ。 ●客観的な視点に立ったコーディネートがトータルに組めることを目指す。 ●コーディネートをロジカルに捉えることで感性の理論化を目指す。	2 ・ 通年	60	2	○	△		○	○			
○			ファッショント情報	ファッショント情報の流れと入手方法について学び、ファッショント情報を分析、活用する事の重要性を理解する。 ファッショント情報の活用を知ることで、モデルとしての表現の幅を広げる。	2 ・ 通年	30	1	○	△		○	○			
○			ファッショント文化史	ファッショントには、その時代の社会状況や人々の価値観が反映される。本授業ではファッショント・デザイナーの仕事やストリート・ファッショントの変遷について概観し、その背景にある時代性を探っていくことで、20世紀ファッショントがどのように発展してきたのかについて考察する。なお、各回ごとに現在のファッショント・シーンと照らし合わせて見ていくことによって、ファッショントの現状と今後について考える手段と姿勢を養う。	2 ・ 通年	60	2	○			○		○		
○			フォトショーティング	様々なスタイリングでの写真撮影を行い、自身が被写体となる際の自己表現を磨き、可能性を高める。作品はポートフォリオとして活用する。	2 ・ 通年	60	2		○		○		○		
○			メディアワーク	フォトショップとイラストレーターの基本操作を習得させ、主にフォトショーティングの授業で撮影する写真を用いて、モデルオーディションなどに必要なコンポジットを魅力あるものに仕上げる。	2 ・ 通年	60	2		○		○	○			
○			日本伝統文化	ファッショントモデルを目指す人自身の外見だけでなく、あらゆる分野の中から日本伝統文化を取り上げ、体験を通して内面的な美的能力を学ぶ。	2 ・ 後期	30	1		○		○	○			
○	○	自由選択(語学)	自由選択(語学) ファッショント英会話	ファッショントを専攻する学生が対象なので、ファッショントに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2 ・ 通年	60	2		○		○	○	○		
○	○	自由選択(語学)	自由選択(語学) オーラルコミュニケーション	初步の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2 ・ 通年	60	2		○		○		○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択			講義				演習	実験・実習・実技				
	<input type="radio"/>	自由選択 (語学) TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。			2・通年	60	2	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。			2・通年	60	2	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。			2・通年	60	2	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッションデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。			2・前期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択A ファッションデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。			2・前期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッションデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。			2・後期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択B ファッションデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。			2・後期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。			2・前期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。			2・後期	30	1	○		○		○	
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。			2・前期	30	1	○		○		○	

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技			
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッショントヨーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択A 帽子 b	ファッショントヨーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択B 帽子 b	ファッショントヨーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択A ニット	トヨーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 前 期	30	1	△	○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択B ニット	トヨーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2 ・ 後 期	30	1	△	○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパンガル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショングループを作成する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○	○	○		
	<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパンガル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショングループを作成する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○	○	○		

授業科目等の概要														
(ファッショント流通専門課程ファッショント流通科ファッショントモデルコース) 平成29年度														
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技			
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1				○	○	○	
		<input type="radio"/>	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1				○	○	○	
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッショント分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2・通年	60	2	○			○		○	
○			校外研修Ⅱ	学外の研修及び研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学)を通し、ファッショント分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1				○	○	○	
○			イベント実習A	ファッショントショーカーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1				○	○	○	
○			卒業研究・創作	・2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーカーを行う。 ファッショントショーカーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5				○	○	○	
学年合計				47科目	1020単位時間( 34 単位)									
総合計				89科目	2070単位時間( 69 単位)									

卒業要件及び履修方法				授業期間等			
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること				1学年の学期区分		前期・後期	
				1学期の授業期間		15週	

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンビジネス	ファッショ ン流通業に必要とされるファッショ ンビジネスに関する基礎を学びながら、ファッショ ンビジネス能力検定3級 資格の取得を目指し、さらに企画について情 報活用・提案までを理解する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○		
○		アパレル商 品論・演習 A	流通全般に必要なアパレル商品としてのス カート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの 基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することで ファッショ ンコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッショ ン小物の製作を通じて 商品を理解させる。	1 ・ 前 期	180	6	○	△		○		○		
○				1 ・ 後 期	180	6	○	△	○	○		○		
○		ファッショ ンコーディ ネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉え たファッショ ンコーディネートの提案能力を養 う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学 習することを目標とする。	1 ・ 通 年	60	2	○		△	○		○		
○		マーケット リサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、 ショップや街などのリサーチとレポートを通して 修得させる。 ・ファッショ ン産業の構造を理解し、小売業態別 にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、 理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた 情報を分析し、企画に結びつける。	1 ・ 通 年	60	2	○		△	○		○		
○		ファッショ ン色彩	ファッショ ン流通の色彩に関する基礎的な技術 や知識を、演習を中心に行なながら習得する。 ファッショ ン色彩能力検定3級に対応。テキスト の内容に沿った講義や実習プリントの学習を 通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、 ファッショ ンカラーコーディネーションのセオ リーなどを理解し、ファッショ ンの現場で活用で きる能力を身につける。	1 ・ 通 年	60	2	△	○		○		○	○	
○		アパレル素 材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル (布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそ れらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基 礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して 学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレ ル業界のつながりや現状とも関連付けながら 解説する。	1 ・ 通 年	60	2	○	△	△	○		○		
○		ファッショ ン史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背 景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッショ ンとの関 連性にも着目しながら、過去の服飾から得た 知識を新たなデザイン発想やコーディネート表 現へと応用できる力を身につけることを目標と する。	1 ・ 通 年	60	2	○			○		○		

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		ファッショ ンデザイン 画	ファッショ ンデザイン画は、人体プロポーション と衣服のバランスを把握し、 イメージするデザインやコーディネートを具体的 に描く技法を身につけることを目標とする。	1・ 前期	30	1		○		○		○		
○		コンピュー タワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来 ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容 を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系 ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・ 通年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) ファッショ ン英会話	ファッショ ンを専攻する学生が対象なので、 ファッショ ンに関するトピックを中心に文法の復 習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラ スを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ ワークを通じ日常会話の疑似体験ができるだ けできるように工夫している。英語でのコミュニ ケーションを少しでも多く体感できることを目指 す。	1・ 通年	60	2		○		○		○	○	
	○	自由選択 (語学) オーラルコ ミュニケー ション	初歩の英文法を学習している学生対象の コース。なかなか心理的に壁があり話したくて も会話ができない状況を打破するために体得 をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な 間違えを直すより、自分の考えを表現できるよ うにすることを重視する。	1・ 通年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確 認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立 てるのビジネス英語の導入としてもとらえて いる。	1・ 通年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四 声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターしま す。入門段階では、単語を蓄積しながら文型 の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えま す。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝 え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、 疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比 喩の表現についてトレーニングします。中検4 級基準。	1・ 通年	60	2		○		○			○	
	○	自由選択 (語学) 日本語(留学 生)	留学生が本科の授業内容を理解するために 必要とされる日本語レベルの習得を目標にす る。授業では、ファッショ ン用語・文法・敬語表 現を中心に、「わかるから運用できるまで」の 指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、 コミュニケーション力向上も視野に入れる。 目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベ ル。	1・ 通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○ 自由選択A ファッショングッズデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ファッショングッズデザイン 画b	ファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ファッショングッズデザイン 画a	前期で習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B ファッショングッズデザイン 画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。衣服のコーディネイト、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A バッグ	ファッショングッズデザインに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B バッグ	ファッショングッズデザインに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択B 帽子a	ファッショングッズデザインに必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○ 自由選択A ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる。実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○		
		○ 自由選択B ニット	ニット製品の特徴を講義と実習により理解させる。実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○		

授業科目等の概要														
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○ 自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○	○			
		○ 自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○	○			
		○ 自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・前期	30	1		○		○	○			
		○ 自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スマッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	1・後期	30	1		○		○	○			
		○ 自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1				○	○	○		
		○ 自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1期・前	30	1				○	○	○		
		○ 自由選択A ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1				○	○	○		
		○ 自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1				○	○	○		
		○ 自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1期・後	30	1				○	○	○		
		○ 自由選択B ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1				○	○	○		

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習・実技	校内	校外	専任	兼任
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○	○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・前期	30	1			○	○	○		
○			自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1・後期	60	2			○	○	○		
○			企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1・後期	90	3			○	○	○		
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1・通年	60	2		○	○	○	○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のためには、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1・通年	60	2	○			○		○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・前期	30	1			○	○	○		
学年合計				42科目							1050	単位時間(	35	単位)

授業科目等の概要																	
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任				
○			マイクアップ概論・演習A	マイクアップアーティストとして、様々なヘア・マイクアップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。 顔分析に加え、用具の使い方・新商品の研究・必要な小物の製作などを通して、実習で作品作りをする。	2・前期	60	2	○	△		○	○					
○			マイクアップ概論・演習B		2・後期	60	2	○	△		○	○					
○			化粧科学	化粧品は消費者が日常的に使用するものであり、化粧品ビジネスに関わるものとして、肌や毛髪について理解したうえでその使い方を正確に伝える必要がある。 ここでは化粧心理学を盛り込みながら、顧客に対し正確で公正な質の高いコミュニケーションを行うための知識を実習を交えながら学ぶ。	2・通年	60	2		○		○		○				
○			色彩美学	発想-表現-コミュニケーション 3つを連動させながらマイクだけにこだわらず、幅の広いクリエーションにとりくむ。 自身を見つめしっかりとコンセプトを組み立てる力を養う。	2・通年	60	2		○		○		○				
○			エスティック	企業との連携により、人間の表面の美しさだけではなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステティックを学んでいく。技術だけではなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び。自らの心も成長させる。	2・通年	30	1		△	○	○		○	○			
○			ネイルデザイン	企業との連携により、ネイルサロンが提案するネイルデザイン・テクニックを学び、新しいネイルデザイン発想提案する。マイクアップのひとつともいえる「ネイル」を学ぶことによってファッションマイクアップのスキルをさらに磨く。	2・通年	30	1		○		○		○				
○			ファッション商品論・演習A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 更に新入生歓迎ショー作品(カジュアルウェア)の制作。バザー作品製作。	2・前期	60	2	○	△		○	○					
○			ファッション商品論・演習B	フォーマルウェアの制作を通して、フォーマルウェアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修業させる。 フォーマルウェアに合う布地を使用したアクセサリー制作。	2・後期	90	3	○	△		○	○					
○			マイクアップコーディネート	素材・色・アクセサリー・体型など、客観的視点からコーディネートの知識と技術を学び、更にコースの専門性を生かしたヘアメイクを加えたトータルコーディネート表現力を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○	○					
○			ファッション情報	ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を分析、活用する事の重要性を理解する。 ファッション情報の活用を知ることで、ヘアメイクの発想の幅を広げ、ヘアメイクに対する職業意識を高める。	2・通年	30	1	○			○	○					

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
○			映像表現	写真での自己表現力を高める要素として、適切な表現技術を知るため、カメラの基本構造、構図の決定の効果、質感の描写のポイント、ライティングのテクニック、テーマの設定の撮影を体験しながら学ぶ。撮影の経験を生かし作品の評価や目的に適合した写真の良否を見極める感性を養う。	2・通年	60	2		○		○		
	○	○	メイクアップ演習	ヘアやメイクアップに特化した実習現場に参加する。専門に学んでいるヘア技術やメイク技術を実践で提供し、様々な素材に対応できるように経験を積み技術を磨く。	2・通年	30	1		○		○	○	
○			ファッション文化史	ファッションには、その時代の社会状況や人々の価値観が反映される。本授業ではファッション・デザイナーの仕事やストリート・ファッションの変遷について概観し、その背景にある時代性を探っていくことで、20世紀ファッションがどのように発展してきたのかについて考察する。なお、各回ごとに現在のファッション・シーンと照らし合わせて見ていくことによって、ファッションの現状と今後について考える手段と姿勢を養う。	2・通年	60	2	○			○	○	
○			メディアワーク	フォトショップとイラストレーターの基本操作を習得し、メイクの提案やイメージをビジュアル化してプレゼンテーションできるスキルを身につける。	2・通年	60	2		○		○	○	
○			日本伝統文化	ファッションメイクアップを目指す人自身の外見だけでなく、あらゆる分野の中から日本伝統文化を取り上げ、体験を通して内面的な美的能力を学ぶ。	2・後期	30	1		○		○	○	
	○	○	自由選択(語学) ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験ができるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○	○	
	○	○	自由選択(語学) オーラルコミュニケーション	初步の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○	○	
	○	○	自由選択(語学) T O E I C	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○	○	

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要		配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択							講義	演習			
		<input type="radio"/>	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4	2 ・ 通 年	60	2		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2 ・ 通 年	60	2		○		○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択A ファッショ ンデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザイン 画a	今まで習得した基礎技法に衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択B ファッショ ンデザイン 画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を作製。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を作製。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 前 期	30	1		○		○		○
		<input type="radio"/>	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2 ・ 後 期	30	1		○		○		○

授業科目等の概要														
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技				校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	自由選択A 帽子 b	ファッショントヨーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B 帽子 b	ファッショントヨーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ニット	トヨーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ニット	トヨーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2・前期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繡、ビーズ・スパングル刺繡)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッショング小物を作成する。	2・後期	30	1		○		○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてトヨーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてトヨーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○	○		
		<input type="radio"/>	自由選択A ソーイングc	綿・化合織を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○	○		

授業科目等の概要													
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択B ソーイングc	綿・化合繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2年・通	60	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>			校外研修Ⅱ	学外の研修及び研修旅行を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>			卒業研究・創作	・F流通科2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ・ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
学年合計				47科目	1020単位時間( 34 単位)								
総合計				89科目	2070単位時間( 69 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1学年の学期区分	前期・後期
		1学期の授業期間	15週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。